

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3
市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★D17-1-56
要綱上の事業名称	(42) 観光交流・物産センター整備事業
細要素事業名	閑上地区観光交流センター等整備検討業務
全体事業費	9,040,000円

閑上地区は、震災前は観光地として年間約 50 万人を集客していた地域である。土地区画整理事業で再整備を行っている閑上地区の再生には観光地としての魅力を向上することが不可欠であり、現在、従前施設（サイクルスポーツセンター）の災害復旧や新たな観光資源（かわまちてらす閑上、貞山運河舟運事業）の整備に取り組んでいる。

こうした取り組みの一環として、閑上地区内の交通結節点（県道が交差し、大型商業施設の整備が予定されている箇所）において、閑上地区の観光スポットやイベントの案内を行うインフォメーションセンターの整備を行うことを計画しており、今回、整備予定の施設が果たす機能、施設規模等について検討を行う費用について申請するもの。

なお、施設整備にあたっては、震災前の閑上地区に所在していた交流施設（692.08 m²）の復旧見合い等を踏まえ、350 m²程度を想定している。

【基幹事業との関連性】

D-17-1 閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業

地区外からの来訪者が期待できる箇所に観光拠点を整備することにより、区画整理区域内の交流人口拡大、地区のにぎわい再生が期待できることから、基幹事業との関連性が認められる。

【事業年度】 平成 30 年度

【事業費】 9,040,000 円

（主な業務内容）・（仮称）閑上地区観光交流拠点施設基本計画策定業務

- ※ この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。